

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～20℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり39kgの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり432kgの水揚げで、前週の71%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり337kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり336kgの水揚げ。五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり749kgの水揚げ。北松生月地区では、マルソウダなどが1日1統当たり829kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり581kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり134kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/10～1/15日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺海区から太平洋赤イカ。赤イカが不漁の為一部大和堆のスルメイカへシフト。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日1隻、総計33箱、スルメイカを中心に漁獲、魚体は20・25入り主体。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-2号 1月に実施した壱岐水道・対馬東水道の観測結果」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>